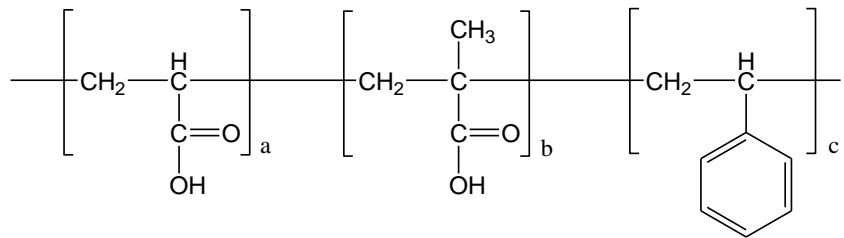


(別紙記載例)

本記載例は、あくまで提出書類を作成する際の要領を例示したものであり、例示した化学物質の試験結果を示したものではありませんのでご留意願います。

I. 対象物質の名称	アクリル酸・メタクリル酸・スチレン共重合物 (既存化学物質名称：○○○○○○共重合物)
II. 対象物質の構造式	
III. 対象物質の数平均分子量	44,000~50,000
IV. 対象物質の重量平均分子量	74,000~80,000
V. 対象物質の単量体単位のモル比	a : b : c = 40~50 : 25~35 : 20~30
VI. 対象物質の単量体単位の重量比	a : b : c = 33~43 : 26~36 : 26~36
VII. 対象物質の外観	白色固体
VIII. 対象物質の用途	プラスチック添加剤 (用途コード：27)
IX. 対象物質の純度及び不純物	純度：99%以上 不純物：トルエン (官報公示整理番号：3-2)：1%以下
X. 対象物質の官報公示整理番号	○-○○○○
XI. その他参考となるべき事項	CAS番号：○○○○-○○-○

(1) 試験サンプルの純度、不純物及びその含有量

純度	99.5%以上
不純物及びその含有量	トルエン：0.5%以下
試験サンプルの選定根拠	工業製品中で最も分子量の小さく、モル比及び重量比が工業製品を代表している試験サンプルを選択した。
試験サンプル入手方法	平成22年3月20日に自社にて試験研究用に製造

(2) 試験サンプルを構成する単量体の名称及び官報公示整理番号等、単量体単位のモル比及び重量比

単量体の名称	官報公示整理番号	その他番号
a : アクリル酸	2-984	CAS番号：79-10-7
b : メタクリル酸	2-1025	CAS番号：79-41-4
c : スチレン	3-4	CAS番号：100-42-5

構造式	
モル比	a : b : c = 45 : 30 : 25
重量比	a : b : c = 38 : 31 : 31

(3) 物理化学的安定性試験結果、酸・アルカリ溶解試験結果

試験番号	A-1
試験期間	平成22年4月1日～4月20日
試験実施施設	〇〇試験所
試験温度	40℃
被験物質の試験濃度	1,000mg/L

試験液	重量変化				DOC変化				IRスペクトル変化			分子量分布変化						変化の有無								
	重量 (mg)			変化率 (%)	平均値 (%)	DOC濃度 (mg/L)				試験前	試験後	変化の有無	平均分子量 (平均値)													
	試験前	試験後	ΔW			試験前	試験後	ΔDOC	平均値				Mn		Mw		Mw/Mn									
				試験前	試験後					試験前	試験後	試験前	試験後													
pH=1.2	400.0	397.1	2.9	0.7	1.1	1.5	0.4	0.3	図1	図2	無	4.6 ×10 ⁴	7.8 ×10 ⁴	1.7	1.7	無										
	400.2	397.6	2.6	0.6	1.1	1.2	0.1										試験後	試験後	試験後	試験後						
pH=4.0	400.0	398.2	1.8	0.4	—	—	—	—	図1	図3	無						4.6 ×10 ⁴	7.8 ×10 ⁴	1.7	1.8	無					
	400.1	398.7	1.4	0.3	—	—	—															試験前	試験前	試験前	試験前	
pH=7.0	400.0	398.1	1.9	0.5	1.3	1.7	0.4	0.4	図1	図4	無											4.6 ×10 ⁴	7.8 ×10 ⁴	1.7	1.6	無
	400.2	398.7	1.5	0.4	1.3	1.6	0.3																			
pH=9.0	400.0	398.6	1.4	0.4	1.5	2.0	0.5	0.6	図1	図5	無	4.6 ×10 ⁴	7.8 ×10 ⁴	1.7	1.6	無										
	400.1	399.0	1.1	0.3	1.5	2.2	0.7																			

図1～5

※IRスペクトルを貼り付けて下さい。

(4) 水・有機溶媒溶解性試験結果

試験番号	A-2
試験期間	平成22年4月1日～4月5日
試験実施施設	〇〇試験所
試験温度	35℃

溶媒	重量変化 (試験濃度 2,000mg/L)				
	重量 (mg)			重量変化率 (%)	平均値 (%)
	試験前	試験後	ΔW		
水	2000.4	1998.8	1.6	0.1	0.1
	2000.5	1998.7	1.8	0.1	
n-オクタノール	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	
n-ヘプタン	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	
テトラヒドロフラン	2000.1	0.0	2000.1	100.0	100.0
	2001.0	0.2	2000.8	100.0	
ジメチルホルムアミド	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	

TOC濃度

測定溶媒	TOC濃度 (mg/L)				有機炭素可溶化率 (%)	
	試験前	試験後	ΔTOC	理論値	測定値	平均値
蒸留水	0.06	0.78	0.72	1160	0.06	0.06
	0.15	0.83	0.68	1160	0.06	

(5) 分子量分布、分子量 1,000 未満成分の含有量等

試験番号	A-3
試験期間	平成22年4月6日～4月7日
試験実施施設	〇〇試験所
分子量分布図	図6
数平均分子量 (Mn)	46,000±2,000
重量平均分子量 (Mw)	78,000±3,200
Z 平均分子量 (Mz)	95,000±4,800
分散度 (Mw/Mn)	1.70
分子量 1,000 未満成分の含有率	0.05%
溶離液	テトラヒドロフラン
分子量換算方法	ポリスチレン換算

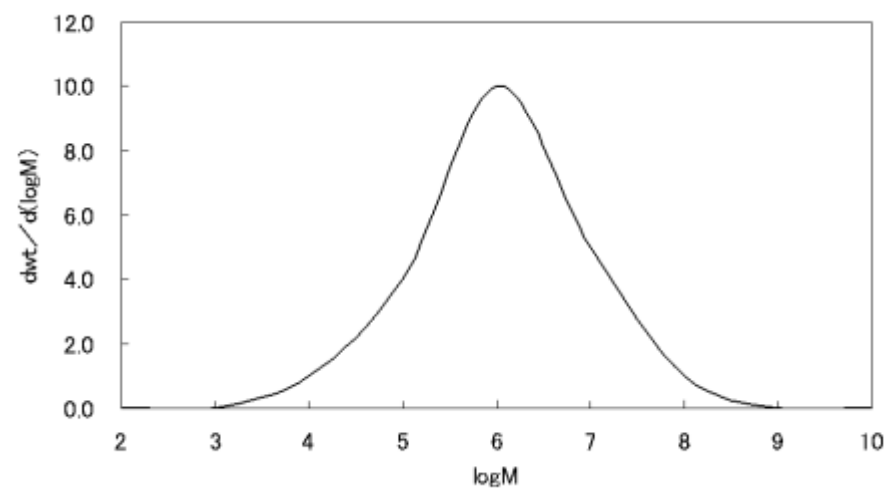


図6. 分子量分布図

(6) 懸念官能基等の有無

懸念官能基等	有無
ナトリウム、マグネシウム、カリウム又はカルシウム以外の金属	無し
ヒ素	無し
セレン	無し
炭素間二重結合	—
炭素間三重結合	—
炭素窒素間二重結合	—
炭素窒素間三重結合	—
アジリジル基	—
アミノ基	—
エポキシ基	—
スルホン酸基	—
ヒドラジノ基	—
フェノール性水酸基	—
フルオロ基	—